

# 経験者に聞きました！ ～国体の思い出～

2021 とこわか国体通信 Vol.2

三重県で開催される第76回国民体育大会「2021 三重とこわか国体」まであと540日となりました！（4月3日時点）

今回は、三重県で昭和50年に開催された第30回国民体育大会で炬火リレー走者を務めた中村明さんと、昨年開催された第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」馬術競技で見事優勝された中村勇さんにお話を伺いました。



## 中村明さん

前回の三重国体の炬火リレー走者

中学3年生のときに、北勢町治田地区代表として三重国体の炬火リレー走者に選ばれました。

当時の炬火リレーは県下全市町村を5つのコースで結び、延べ983km、6,498人によって行われました。炬火はメイン会場の伊勢市に集まり、市役所前で行われた集火式で1つの火になりました。



1.2. 県から支給されたユニフォーム、ハチマキ、靴

## 炬火が町にやって来た！

### 当時の思い出を教えてください

とても緊張したことを覚えています。当時は中学3年生で、地域の人から注目を浴びるのはこの時が初めてでした。

白バイやパトカーに先導されて走ることはなかなかできないですし、とてもいい思い出になりました。

また、親戚をはじめ、地域の人が沿道にたくさん集まり、旗を振って応援してくれたことも記憶に強く残っています。地域の代表として走ることができ、とても光栄でした。



3. 当時の炬火リレーの様子。前から3番目が中村さん

### 2021年の三重とこわか国体に向けて

自転車（ロード・レース）はツアー・オブ・ジャパンいなベステージで馴染みがあるので楽しみにしています。また、娘がハンドボールをやっていたので、一緒に見に行きたいです。

炬火リレーは中学生のときのことですが、今でもとても鮮明に覚えています。三重とこわか国体も子どもたちの記憶に残るような大会になるといいなと思います。



## 中村勇さん

「いきいき茨城ゆめ国体」馬術競技優勝者

小学6年生から馬術を始めた中村さんは、これまで25回国体に出場しています。

2010年に千葉県で開催された「ゆめ半島千葉国体」から毎年入賞し、去年行われた「いきいき茨城ゆめ国体」は10回目の入賞と同時に初優勝も飾りました。

## 《ボランティア募集》

三重とこわか国体いなべ市実行委員会では、2020 三重とこわか国体リハーサル大会、2021 三重とこわか国体のボランティアを募集しています。

市を訪れる選手、大会関係者、一般観覧者に温かいおもてなしをして、大会を一緒に盛り上げましょう！

活動内容や期間、応募方法など詳しい情報は市ホームページへ。  
☎ 国体推進室 ☎ 86-7847



## もてなしの心で人とつながる

### 中村さんにとっての国体とは？

県を代表して出場するので、個人で出場するときとは違った感覚になります。たくさんの人に応援されているなど強く感じ、特別な気持ちになります。

国体で各地に行くと、地元の人からの温かいおもてなしを感じることも多くとても嬉しいです。自分たちがどれだけ歓迎されているのかも感じます。当時の成績は忘れても、おもてなしはずっと心に残っています。

### 茨城国体でのパフォーマンスについて

10回連続の入賞がかかった大会で、三重県選手団の旗手を務めたり、出場競技会場に皇族が来場したりといろんなプレッシャーが重なりましたが、普段どおりに競技に臨むことができ、優勝することができました。

若いころは緊張しましたが、自分が緊張しては馬に申し訳ないと自分に言い聞かせて、大会前にメンタル作りをしています。

パートナーのケアフルと一緒に9年連続で国体に出場し、全ての大会で入賞出来たことは奇跡のようです。ケアフルに感謝しています。

### 2021年の三重とこわか国体に向けて

新たな気持ちで大会に全力投球し、馬のパフォーマンスを最大限引き出してあげたいと思います。



1. 中村さんとケアフル。茨城国体ではダービー種目（障害飛越競技）で優勝。国体総合馬術では4位に入賞。  
2. 茨城国体で三重県選手団の旗手を務め、緊張の面持ち。

### ●内容

- ①運営ボランティア【受付・会場案内、会場サービス、広報・記録、環境美化、規制立哨員（自転車競技）】
- ②クリーンアップボランティア
- ③花いっぱいボランティア
- ④応援ボランティア

### ●対象者

- ①ボランティア活動日に参加が可能な中学生以上で、次のア～ウのいずれかに該当する人。
- ア. 市内に在住、在勤、在学する個人または団体
- イ. 市内に事業所などを置く企業または市内に支部などを置く団体などの従業員および構成員
- ウ. その他国体の開催主旨に賛同する人
- ※18歳未満は保護者の同意が必要（ボランティア応募日時点）
- ②～④市内に在住、在勤、在学の個人または団体